

委員会だより

<1月10日(日) 12名出席>

【1】財務報告：98年12月度決算報告(甲斐さん) (括弧内金額は98年度年間予算)

	98°収入累計	98°支出累計	次期繰越金
一般会計	8,323,776 (6,509,287)	7,556,508 (6,509,287)	767,268 (0)
建設会計	6,485,476 (5,396,270)	5,190,000 (4,690,000)	1,295,476 (706,270)
愛の献金	1,054,559 (1,110,131)	592,810 (620,000)	461,749 (490,131)
信徒預金	801,682 (859,931)	610,009 (680,000)	191,673 (179,931)

▶特記事項:

- 月定献金の未納分が約80万円ある。神父様の特別献金が約250万円あり、何とか持っている状況で、今後に課題の残る構造。
- 婦人会より、活動収益の蓄積分から建設会計にと35万円特別寄付頂いたが、一般会計に15万円充当させて頂いた。

【2】議題:

- (1) 信徒総会議事内容: 例年と同様の予定で了承。
- (2) 年間予算表: 委員長より案が示され、下記の修正を施し、信徒総会に諮る。
 - 御復活前大掃除は前日の4月3日(土)
 - 卓球大会は壮年会主催で今年も実施
 - クリスマス前赦しの秘蹟は12/12に願う。
 - 敬老会のお祝いの品、特に菓子類は見直す。年齢については従来通り70歳から。
- (3) 99年度予算:
 - 予算は前年度並みあるいは減額をベースに工夫。
 - 行事費は絞り込む。また御復活等の大きな行事ではその為の献金箱を一定期間出すことも検討。
 - 神父様からの多額の献金で収支バランスしている状況は、信者数減少などに伴う構造的課題。他教会の状況調査や、出費の見直しとともに、月定献金の増額等も今後の検討課題。
- (4) 横浜教区福祉委員会(岩崎さん)
活動強化のためネットワーク作りを考えており、協力可能なら代表を出して欲しい旨要請が来ているとのこと。対応の方向で検討する旨回答する。
- (5) 侍者について(典礼委員 平瀬さん)
侍者無しのミサが多いので、広報に侍者募集の依頼を載せる。また、まず平瀬さんが実施する。

壮年会だより

<1月17日(日) 15名出席>

1月17日に本年度総会を開き、昨年度の行事などの活動報告と会計報告があり、承認されました。つづいて新役員の紹介があり、今年度の行事予定が昨年とほぼ同じ内容で決まりました。また、役員改選に伴い、壮年会連絡網が変更になりました。

今年度行事予定表と新連絡網をお手元に届きますようにいたしますが、万一届きませんようでしたら、役員までお申し付けください。

集会室での総会に引き続き、新年会を教会からす

ぐの横浜藤よし立場店にて行いました。参加者15名、大いに盛り上がり、会員相互の親睦を深める上で大きな成果があった新年会でした。

婦人会だより

<1月17日(日) 45名出席>

- 平成11年度総会
- 平成10年度会長挨拶
- 平成10年度行事報告、会計報告
- 会計監査の結果報告
- 特別会計より建設会計へ35万円寄付した旨前回お知らせしましたが、教会の会計事情により一般会計と建設会計とに半分ずつ寄付されることになりました。
- 質疑応答
 - a. 車代1500円の支出についての疑問がなされた結果、行事に必要な車代は各行事費の中で処理すべきであること、また規約にある車代とは何の行事にも該当しない場合の車代に限って支出できるということを確認されました。なお、10年度は決算書のままとすることで承認されました。
 - b. 予算を組む事は要望があつて始まったことでもあり予算を執行する目安にもなるので、様子を見るために継続することになりました。
- 旧役員の皆様のご挨拶。ご苦労様でした。
- 1月例会
 - 新役員の紹介。一年間宜しくお願い申し上げます。
 - 神父様のお話: 教会の会計が厳しいとの話がありますが、人数の減少と言う事情もあり仕方ないことです。少なかつたら少ないような動きをすれば良いし、収入に見合った支出をすれば良いのです。必要な事は神様が助けてくださるのだから心配しないで良いのです。ただ、皆さんが仲良く少しでも良い習慣を後の人に残して欲しいのです。
 - 会費は月額100円で継続されることが承認されました。
 - 今年も例年同様遠足を行うことになりました。2月例会まで候補地等を考えておいてください。
 - 広報の担当者より原稿の依頼がありました。
 - 担当は、3月、5月、7月、11月、です。
 - 1月31日ミサの後、総会があります。
 - 5週目のお花は、掃除当番と同じ週の生花担当者をお願いします。

●新年会

- 乾杯
- 森田様ご夫妻の民謡と会員有志の踊り。
- 手話と歌。楠田会長と会員の皆様全員で。
- ピンゴ
- お祈りにかえて全員で聖歌を歌い和やかなうちに終了しました。

次回例会は2月21日(日)、次回当番はB地区です。

転入 お知らせ

マルコ 内田 真樹
マリア 広美 (旧姓 富田)
フランシスアジジ 臨太郎 (1996.2.17生)
〒245-0016 泉区和泉町1012-4
TEL 803-3655

今月の予定

委員会 2月 7日
灰の水曜日 2月 17日
四旬節第一主日 2月 21日
サロン 2月 14, 28日
レジオ 2月 12, 19, 26日



第244回

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
1999年2月7日



学ぶことの喜び

山崎 正俊



その流れは孤立してはならない。けれども、何故か、この孤立はやむこともなく続いている。どうしてか、この大切さは忘れられ軽んじられる。神秘的な、この霊性の流れは、教会の内的な日常のすべての表現の奥底にあるものなのに、そのためか、はなやかな忙しさの陰に沈められてしまい、その重要さが見えにくい。しかも、それが消えかけているときの身軽さが、動きやすくしてくれているようにさえなるらしい。

神様へのまことの賛美は、沈黙の祈りにも似た深い場所(心のうちにカスカに感じられるところ)にしか、芽生えないらしい。御本人の心の耳にさえ響いてこない。あまりに騒がしいところにいることによってこそ、心やすらかにできるというような思いがちに落ちいつているせいだ。

これは、この頃になって、聖人として称えられる声がかたかくされてしまった、あのアウシュビッツのガス室で、ユダヤ人を消し去ろうとしていた国家権力の暴力のもとに、この世での生命を強奪された修道女の著作の中に述べられているものです。— 私などは、やっとなこと、この齢になって気付かされたようなわけで、静かな祈りの時を手にいれる精神的なゆとりを教えられて、心の眼がひらけたところです。この人は、その生き方から見て、教会博士として宣伝される。御本人の思いもしなかった栄誉が、多くの人々に、すばらしい贈物となったのです。

心がここになれば、眼の前に見えていても何も受けとめられず、聞こえているのにその善い意味が伝わって来ない。— これは古くから教えられていることのはずです。

— それでも、この考え方ができるようになれたことは、ありがたいことです。遅くとも、嬉しいことです。昨日にも死んでいたならば、ついに気付かぬままになっていたことでしょう。朝にこのことを心に留めることができれば、夕方に死んだとしてもそれでよいという実感は、私にとっても、決して忘れてはならない心構えのはずです。

この世に生れた者には、必ずこの世を去る日がくるはずですが、誰にとっても、このことは同じはずですが、これまでは他の人のことだと思っていたが、いま、この身に降りかかってきたとは、こりゃたいへんだ。ある文人はそう記して、人生を笑い飛ばしながら去って逝かれたそうですが、その複雑な心境などは、一緒になって楽しめるほどのものではないでしょう。その自らの死をさえ、多くの人に反省の切っ掛けとなさったような終局などは、偉大な意味を含んでいる。いつも、その覚悟を保っておられたことが、そのすべてを「祈り」としてお捧げになっておられることになり、祈りとオコナイの一致同化があつたことと推察させられます。祈りによってととのえられたオコナイ。— 御父の聖旨をはたしつづけられたイエズスさまの御姿は、まことに「神様のイツクシミ」そのもの。自分のことには、あまり気を置かない、御仏の御慈悲に徹することを御大切になさったおかたのことをかさねあわせて、まことの善意によって、その「この世での生命」を、おささげ尽くされたおかたがたの居られたことに、私も心引かれるのであるならば、それに学び習いたい。まことに生きる道が、そこにこそ、おのずから開ける。

侍者をやってみませんか 平瀬 晃

毎日曜日のミサにあずかっていると、おわかりいただけることですが、山崎神父様一人で司式をされていることがほとんどの状態が続いております。

ときどき侍者経験のある若者が来たとき、お願いをしておき、突然のことながらも彼らも気持ちよくひき受けてくれますので、大いに助かるわけです。

しかし、忙しい彼らを組織して当番制を敷くほどのことはできそうにありません。

そこで、神父様に侍者対象者の輪を広げる提案をいたしましたところ、是非進めてくださいとご了解を得られた次第です。

奉仕活動のひとつとしての侍者は大変重要なものです。公会議以前、ラテン語でミサが行われていた頃はミサ答えをする侍者は大変な仕事でしたが、現在では神父様との応答の必要がありませんので、難しいものではなくなりました。

とはいえ、侍者の重要性が変わるわけではなく、侍者なしのミサは極力さげなければなりませんので、皆さんにご協力をお願いするしだいです。

当面は男性を対象として年齢問わずで募集いたします。4人以上になれば月一回の負担ですみますし、慣れるまでは経験者と組んで二人で行うことも考えていますので、典礼委員までお申し出ください。

聖公会では、はじめての女性司祭が誕生したと聞いており、また他の教会では女の子が侍者の奉仕をしているのが稀ではないこのごろです。今回を第一弾として近い将来は女性の奉仕者が誕生していることでしょう。

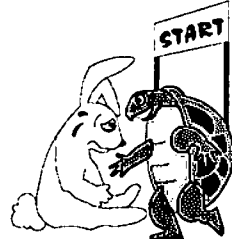


壮年会新役員紹介

胃切コンビ + アルピニスト???

壮年会役員は二年任期、今年がちょうど改選の時期、そこで、現役員が中心となって、人選をすめ、このほど下記のとおり、新役員が決定、今月17日の総会から活動を始めました。なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

	(現)	(新)
会長	上野 厚	平瀬 晃
副会長	萩原 政弘	竹内 広治
会計	七浦 鑑吉	山田 孝信



1月3日、新旧役員が集まって、引き継ぎの打ち合わせが行われました。そこで原則として、今までの流れをそのまま継承していくことが確認されました。詳しくは総会の席上で皆さんの承認を得ることができました。

とにもかくにも、役員なんて、快適な教会ライフを目指してどこまで黒子に徹することができるかが勝負、気負わずに担々と進められればと考えています。そのためには、会員ひとりひとりの協力が欠かせません。全員で盛り上げれば、期待以上のはたらきをするかもしれません。

最後に副題の胃切コンビ+アルピニストについて一言、山田さんのアルピニストについてはつとに有名なところ、何も説明がいらぬ。昨年もヒマラヤの麓をトレッキングしてきたほど、いくらでも面白い話が聞けます。

異色コンビなら聞いたことがあっても、胃切コンビなんて新語? 二人合わせて1/3しか胃がないのでまさしく胃切コンビ、とはいえ経過良好でいたって元気、壮年会のお世話役として張り切っています。なにとぞ応援よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、前任の上野会長さんはじめ役員のみなさんには大変お世話になりました。厚く御礼申し上げますと共に、不慣れな私達のご指導よろしくお願ひ申し上げます。(文責:平瀬 晃)

ご挨拶

萩原 政弘

この度壮年会の役員を退任することになりました。2年間の在任中は会員の皆様のご協力により何とかお役目を維持させて頂きましたことを心からお礼申し上げます。

今後も新役員の方々のご尽力により壮年会が益々発展することを願っております。

ごあいさつ

楠田 恵美子

この間神父様のお説教の中で『仲良くしなさい。互いに足りないところを助け合いなさい。』というお話がありました。

目からウロコが落ちるとはこの事かと勇気づけられる思いでした。

順番とはいえ、婦人会の役をおおせつかり、気の重い毎日でしたが、神父様のお話を聞き、足りない所は教えていただけるんだと考え直したら、肩の力が抜け、ハッピーな気持ちになれました。

気がつかない、分からない事ばかりですが、会員の皆様に教えていただいて、元気印でお役に立てたらと思っています。

一年間役員一同よろしくお願ひ致します。



信徒総会 (99.1.25 出席45名)

- 議長(花坂委員長)挨拶: 信徒数不足で収入減の中での予算策定、不況の折でもあり、節約で臨みたい。委員は前年メンバー継続。
- 98年度教会財務収支報告(甲斐委員)及び監査報告(石井三雄氏): 一般会計、建設会計、愛の献金会計、信徒会計とも承認。月定献金未納が214月分あり、一口あたり単金も若干減少で、苦しい。神父様の特別献金で帳尻が合っている状況。婦人会からの建設会計への特別寄付35万円の内15万円を一般会計に充当。
- 99年度教会予算案説明(甲斐委員)
- 第5地区宣教委員会活動報告(七浦委員): 99年度は町田さんから瀬尾さんに交代、七浦氏留任。昨年は湘南キリスト教セミナーに初参加。良い内容なので今後も参加。また環境を考える会を8月に設立し、月一回例会。バザーではゴミの分別収集等も実施。
- 99年度教会行事予定説明(花坂委員長、小野寺副委員長): 年間予定表を配布し、説明、了承。修正、追加として、2/13(土)おもしろ理科教室、3/7(日)赦しの秘蹟(鶴飼神父様)
- 一粒会財務及び事業報告(小野委員): 98年度は本部委員会が年2回、9/15には一粒会大会。横浜教区は神学生3名と入学希望者2名で、現状維持の為に必要な毎年4~5名の司祭誕生に比べ少ないのが課題。99年度は地区活動の活性化と広報活動充実を図りたい。
- 質疑
 - コピー機関連の支出が多い。途中解約できるなら、もっとシンプルで安いものに変えるべきでは。⇒リース60回契約の途中解約条項も確認し検討する。
 - 布教教化費の成人式は行事に移し、信徒会計にも費目があるのだから、一般会計の教化費は半額程度にしてはどうか。⇒信徒会計にも教化費があるのは、バザー成果をこの方面にも役立てたい為。成人式は行事として定着させる方向で委員会で検討する。
 - 会議費に婦人会例会での茶代も入っているなら、婦人会側で負担しても良い。⇒入っている。負担してもらえれば有り難い。
 - 行事費削減の為、御復活の8万円は5万円程度にすべきでは。⇒減額の方で検討する。
 - 敬老会10万円も少し減らせるのではないか。⇒高齢者数増加しており、今後検討して行く。
 - 広報内容で各種会合報告に重複が見られる。⇒重複せぬよう原稿お願いします。投稿もよろしく。
 - 営繕担当福島委員の活動へのお礼が述べられた。

ミサ当番表 (99年2、3月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
2/7	年間第五主日	壮年会	美底	3/7	四旬節第三主日	壮年会	美底
2/14	年間第六主日	青年会	森田	3/14	四旬節第四主日	青年会	森田
2/21	四旬節第一主日	婦人会B地区	大宮	3/21	四旬節第五主日	婦人会C地区	大宮
2/28	四旬節第二主日	壮年会	岩淵	3/28	受難の(枝の)主日	壮年会	岩淵

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel. 802-6258)